

22 xy 平面において、原点 O を通る半径 r ($r > 0$) の円を C とし、その中心を A とする。O を除く C 上の点 P に対し、次の 2 つの条件 (a), (b) で定まる点 Q を考える。

(a) \vec{OP} と \vec{OQ} の向きが同じ

(b) $|\vec{OP}| |\vec{OQ}| = 1$

以下の問いに答えよ。

(1) 点 P が O を除く C 上を動くとき、点 Q は \vec{OA} に直交する直線上を動くことを示せ。

(2) (1) の直線を l とする。 l が C と 2 点で交わる時、 r のとりうる値の範囲を求めよ。

(1) $Q(x, y)$ とおくと 条件 (a) より、 $(x, y) \neq (0, 0)$

$$\vec{OP} = |\vec{OP}| \frac{\vec{OQ}}{|\vec{OQ}|} \quad (\because \text{条件 (a)})$$

$$= \frac{1}{|\vec{OQ}|} \vec{OQ} \quad (\because \text{条件 (a)})$$

$$= \frac{1}{x^2 + y^2} (x, y)$$

$$\therefore P\left(\frac{x}{x^2 + y^2}, \frac{y}{x^2 + y^2}\right)$$

$$A(s, t) \text{ とすると、} C: (x-s)^2 + (y-t)^2 = r^2$$

P は C 上より、

$$\left(\frac{x}{x^2 + y^2} - s\right)^2 + \left(\frac{y}{x^2 + y^2} - t\right)^2 = r^2$$

$$\frac{1}{x^2 + y^2} - \frac{2sX}{x^2 + y^2} - \frac{2tY}{x^2 + y^2} + s^2 + t^2 - r^2 = 0$$

$$\because OA = r \text{ より } OA^2 = r^2 \Leftrightarrow s^2 + t^2 = r^2 \dots \textcircled{1}$$

$$\therefore 2sX + 2tY - 1 = 0$$

Q は、直線 $2sX + 2tY - 1 = 0$ 上を動く。

この直線を l とし、 l の法線ベクトルの 1 つを \vec{n} とすると、 $\vec{n} = (2s, 2t)$

$$\vec{OA} = (s, t) \text{ より、} \vec{n} \parallel \vec{OA} \quad \therefore l \perp \vec{OA}$$

よって、題意は示された。

$$(2) (1) \text{ より、} l: 2sX + 2tY - 1 = 0$$

l と C が 2 点で交わる条件は

$$\frac{|2s^2 + 2t^2 - 1|}{\sqrt{4s^2 + 4t^2}} < r$$

$$\frac{|2r^2 - 1|}{2r} < r \quad (\because \textcircled{1})$$

$$|2r^2 - 1| < 2r^2$$

(両辺正より、2乗すると、

$$4r^4 - 4r^2 + 1 < 4r^2$$

$$r^2 > \frac{1}{4}$$

$$r > 0 \text{ より、} \underline{\underline{r > \frac{1}{2}}}$$